

2025年2月4日

株式会社三菱UFJ銀行

株式会社アークエッジ・スペースへの出資について

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 半沢 淳一^{はんざわ じゅんいち}、以下 当行）は、今般、超小型衛星コンステレーションの企画・設計から製造、運用まで一貫したソリューションを提供する株式会社アークエッジ・スペース（代表取締役 CEO 福代 孝良^{ふくよ たかよし}、以下 アークエッジ・スペース）に出資いたしました。

宇宙産業の市場規模は、2030年には91兆円に達する見通し^[1]であり、世界で最も成長する産業の一つです。今後、人工衛星を通じた通信や測位、地球観測データの利活用はさらに幅広い分野で拡大していくことが想定され、さまざまな社会課題の解決に貢献することが期待されています。一方で、日本の宇宙産業が世界の競争に勝っていくためには、サプライチェーンを含めた自国の産業基盤を強固にしていく必要があります。

アークエッジ・スペースは、国内宇宙産業の発展に重要な役割を担う企業です。IoT データ収集、リモートセンシング、衛星間通信、VDES^[2]など、多様なニーズに対応可能な衛星システムの開発・運用を手掛けており、地上と宇宙をつなぐ新たな価値の創造に取り組んでいます。特に衛星データを活用した革新的なソリューションの開発により、社会課題の解決に貢献しています。当行は、本出資に伴うパートナーシップのもと、当行が有する幅広いネットワークや総合金融サービスの知見・ノウハウの提供により、アークエッジ・スペースの持続的な成長と事業価値の向上を支援してまいります。また、本事業に参画することで、衛星開発企業をはじめとする宇宙関連事業者など、さまざまなプレイヤーとの連携を進め、新たな産業クラスターの創出をめざしてまいります。

当行は、「お客さまと事業リスクを共にし、社会課題の解決に向けた新産業を創出」する事業共創に取り組んでおります。今後も、国内宇宙産業の持続的な発展と、多様な社会課題解決に向けて、日本の宇宙産業バリューチェーンの構築に貢献してまいります。

【アークエッジ・スペースの概要】

正式名称	株式会社アークエッジ・スペース
代表者	福代 孝良
所在地	東京都江東区有明1丁目3番33号ドーム有明ヘッドクォーター3階
設立	2018年7月
事業内容	超小型衛星コンステレーションの企画・設計から製造、運用までの一貫したソリューションの提供

[1] 三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社による試算

[2] 海上通信のための新しいデジタル通信システム